千瓢

The Senpyo

富山県立大学同窓会機関誌
第15号

発行日．2020年(令和２年)７月１日
発　行．富山県立大学同窓会 会長 野開勝政
編　集．「千瓢」編集部［編集長 池上 勁，編集員 炭谷 優子］
住　所．〒939-0398 富山県射水市黒河 富山県立大学内
電　話．0766-56-7500
メール．senpyokai@pu-toyama.ac.jp
ＵＲＬ．https://tpu-dosokai.jp/

射水キャンパスに中央棟が完成

2020年４月完成の新校舎（中央棟）

富山のアルミ技術を活かしたデザイン

魅力的なキャンパスづくり
学生を大きく伸ばす学びの場
地（知）の拠点としての大学づくり

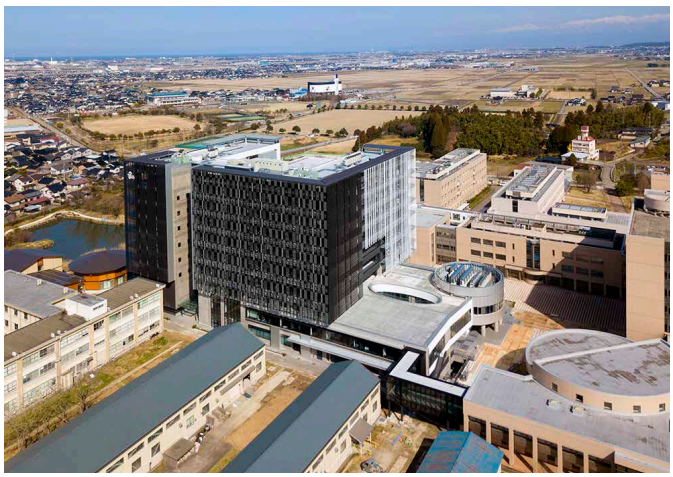
本学の学科拡充による学生数の増加等に対応するため、射水キャンパスに新たな校舎が整備されました。鉄筋コンクリート造（９階建：高さ約42ｍ）地域のランドマークとなるシンボル的なデザインは、富山の地場産業でつくるアルミスクリーンを設置し、とやまらしい外観を演出する。アルミスクリーンのカラーは、高岡の伝統産業に使われる銅とアルミのシルバーの二色を組み合わせる。東西に通る軸線「キャンパスプロムナード」をガラススクリーンとし、西側の県道から見て、一目でわかる大学の新たなエントランスゲートを創造する。低層部は、既存棟の色彩と一体感を持たせ、キャンパス全体の調和を図り、高層部はコンパクトな「コの字型」の形状とし、隣接する既存棟への圧迫感を抑えたデザインとなっている。

新型コロナウイルス感染症の収束を目処に同窓会では、新棟の見学ツアーを企画したいと思います。

目次

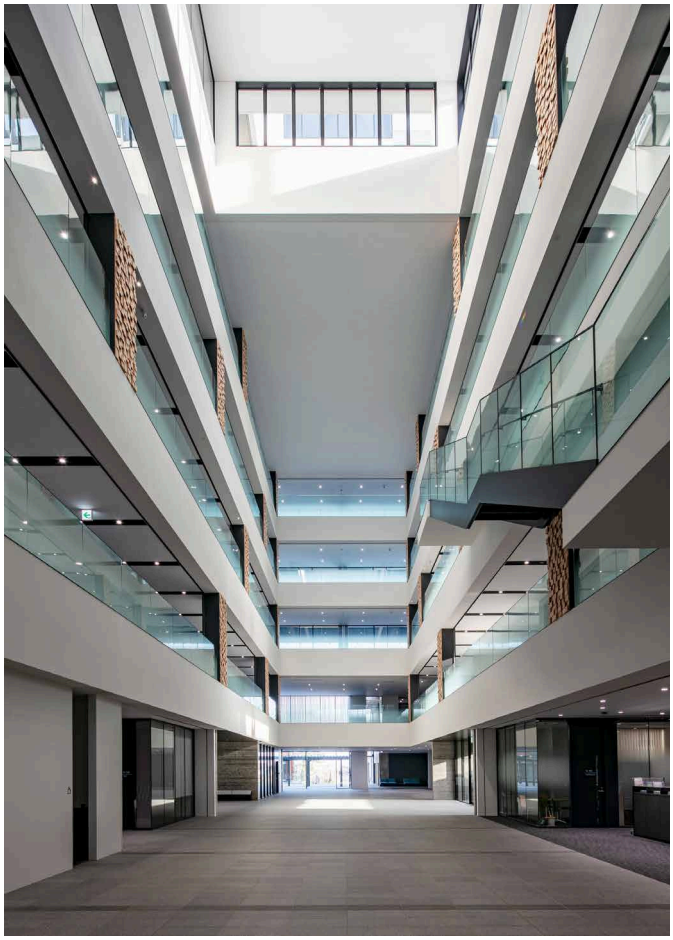
1　巻頭　新校舎ギャラリー
4　研究室の近況案内　情報システム工学科／電気電子工学科／機械システム工学科／生物工学科／医薬品工学科／知能ロボット工学科／環境・社会基盤工学科
4　広告掲載企業一覧
6　大谷米太郎記念基金事業による大学院修学奨学金の支給について
7　この数字をご存知ですか？
8　看護学部スタートの１年　竹内　登美子　看護学部長
9　大学ニュース
10　集まってます　デバイス研究室１期生　宇於崎　秀夫
11　私の好きなもの　熊野　誠
11　コーヒーブレイク　今井さん米作りの句碑を自宅の庭に
12　「ポートランド州立大学語学研修」報告書　今田　響介／小野木　菜々／前沢　菜緒
14　「中国・大連での企業実務研修」報告書　中山　舞
16　東日本大震災の被災地を訪ねて　野開　勝政　同窓会会長
16　はてなクイズ
17　令和元年度同窓会総会・講演会・懇親会報告　橋本　隆志
18　インタビュー　たい焼き世界一に挑戦　岩井　学　教授
19　旧短期大学校舎見学徒然記　澤　嘉昭
19　せんぴょうノート
20　３冊の本　今井　秀昭／宮代　裕　名誉教授
23　同窓会日誌
23　プレゼント
24　2020年度同窓会総会中止のお知らせ
24　声
24　編集後記

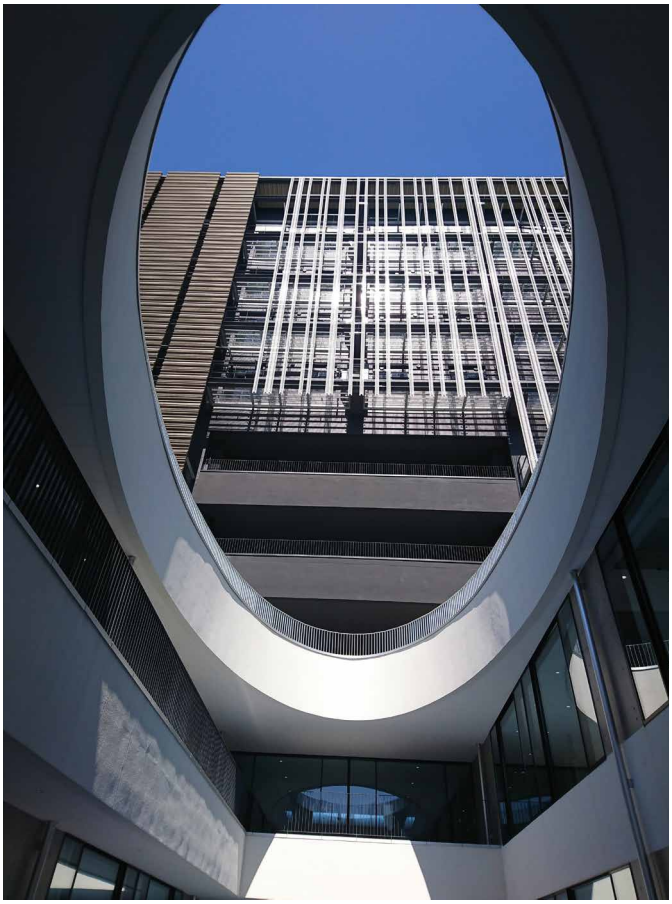
題字は浦野泰子さんにたのみました。浦野さんは富山県立大谷技術短期大学の応用数学科の１期生です。



新校舎（中央棟）と周囲を囲む既存棟

東西に貫くキャンパスプロムナードの入り口

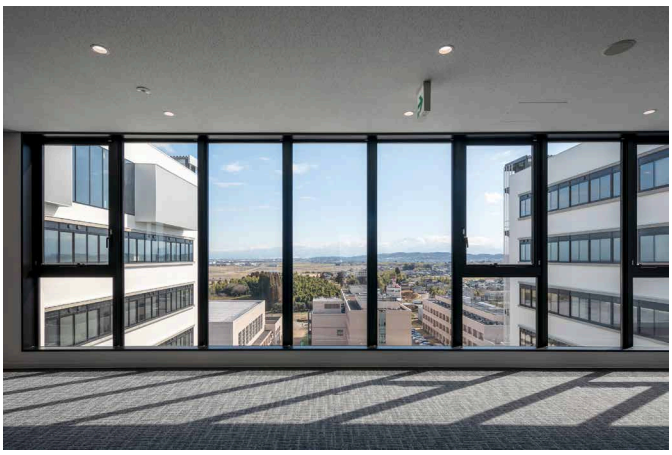




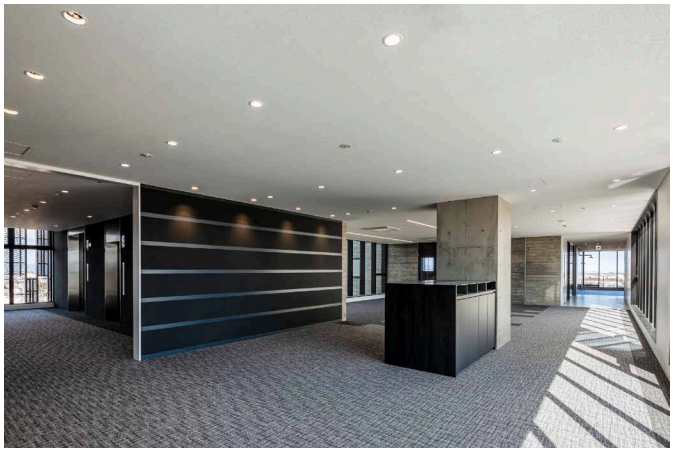
アカデミックモールの入り口

アカデミックモール
吹抜け空間を南北に貫き、アクティブラーニングスペース、オープンラボ、地域連携センター、大講義室、学生会館へとつながる交流空間を創出する。６Ｆまで突き抜けた大きな吹抜け空間の廻りには廻廊があり、互いの学習・動きが見える。また、吹抜け空間を設けることで、自然採光や自然通風に配慮するなど、快適な教育環境を創出する。

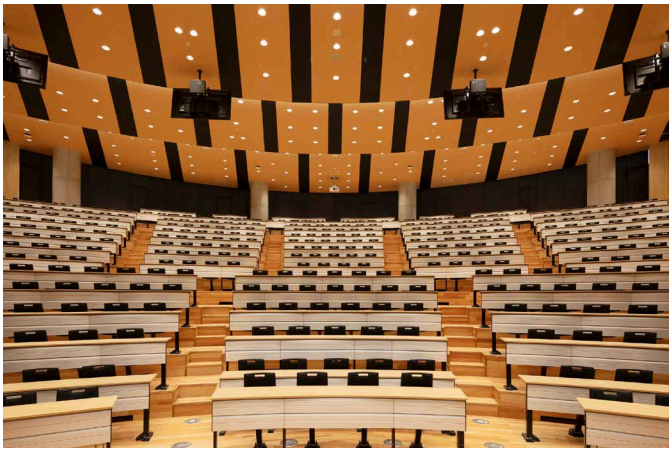
ラーニングコモンズ　1F



8階廊下から東側に眺める立山連峰



8階 廊下



大講義室

北側に配置した大講義室からは太閤池周辺が一望でき、
潤いと安らぎが感じられる空間

特別会議室　9F

新校舎の竣工式の様子はホームページにてご覧いただけます
https://tpu-dosokai.jp/report/200329

未来の自然を考える
株式会社 国土開発センター
測量・調査・設計・総合コンサルタント
取締役富山支店長　御器谷　正人
射水営業所長　野開　勝政
富山支店　：〒939-8213 富山市黒瀬 13 番地 3
TEL(076)420-9800・FAX(076)420-9808
射水営業所　：〒939-0313 射水市塚越 1816 番地
TEL(0766)56-8558・FAX(0766)56-8559
http：//www.kokudonet.co.jp

株式会社 中部設計
代表取締役　中　瀬　壽
本社　〒930-0029　富山市本町10番2号
TEL 076-442-4161 FAX 076-441-3704

研究室の近況案内

情報システム工学科

人間情報工学研究室

唐山　英明教授　木下　史也講師

本研究室は令和２年度より新設された情報システム工学科に位置し、人間情報・生体情報を専門的に扱う研究室です。近年、電子機器の発展により人間情報は驚くほど簡便に計測できるようになりました。世界的な社会の高齢化に伴い、こうした技術への期待はますます高まっています。本研究室ではセンサを用いて取得した人間情報に対し、機械学習をはじめとする高度なデータ分析手法を組み合わせることで人間情報の工学的応用を目指しています。研究室には生体機能計測装置、バーチャルリアリティ環境、モーションキャプチャシステム、サーモグラフィ、視線計測器、触覚ディスプレイなど高額な実験機器が多数設置されています。NIRS や MRI といった脳活動の精密スキャン装置も利用可能であり、本研究室の設備は国内の主要大学と同程度以上に充実しています。また、平成 31 年度から本学に開設された看護学部の教員とも積極的に看工連携研究を行っており、基礎研究・応用研究の枠にとらわれず人間情報に関するテーマを多岐にわたり研究しています。

昨年度実施した看工連携研究の例として「画像処理に基づく定量的手洗い評価方法の開発」という研究テーマがあります。2020 年、新型コロナウイルス感染症 COVID-19 の爆発的な感染拡大により手指衛生が注目されています。一方、手指衛生を指導する実際の看護教育現場では、洗い残し部分にブラックライトを照射し、発光した部分を目視にて判断しています。この研究では、ブラックライトを搭載した専用の撮影ボックスで手のひら画像を撮影し、画像処理と深層学習の手法を用いることで定量的な評価方法による洗い残し部分の分析・評価を行っています。その他にも、「VR を利用した軽度認知障害を予防するビジョントレーニングシステムの開発」や「fMRI 画像に基づく嗜好の解読」、「ブレインライフログに向けたウェアラブル BCI の開発」など人間情報に関する研究を多岐にわたり行っています。

図 1. 研究室のキーワード

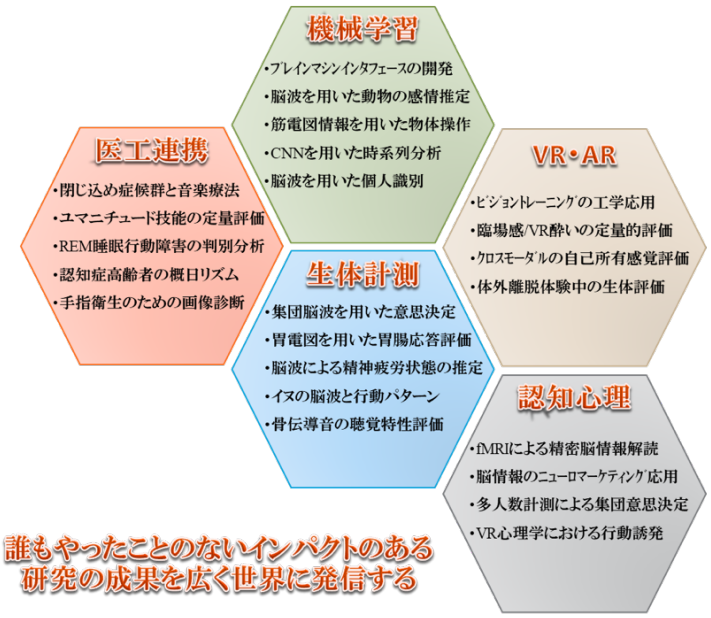


図 2. 研究室の取り組み

広告掲載企業一覧

（株）雄川コンサルタンツ
海王交通（株）
キクラ印刷（株）
北建コンサル（株）
（株）建成コンサルタント
（株）国土開発センター
（株）サカエグリーン
三協立山（株）
（株）上智
（株）新日本コンサルタント
水機工業（株）
中越興業（株）
（株）中部設計
（株）寺島コンサルタント
砺波工業（株）
富山県第一自動車学校
富山県農業協同組合中央会
（株）婦中興業
北陸コンサルタント（株）
松原建設（株）
丸高木材（株）
山本理化

研究室の近況案内

電気電子工学科

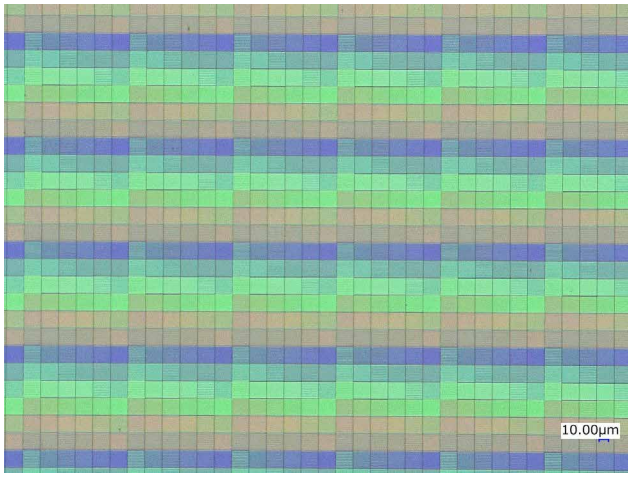
電子通信システム講座

大寺　康夫教授
https://www.pu-toyama.ac.jp/IS/photonics

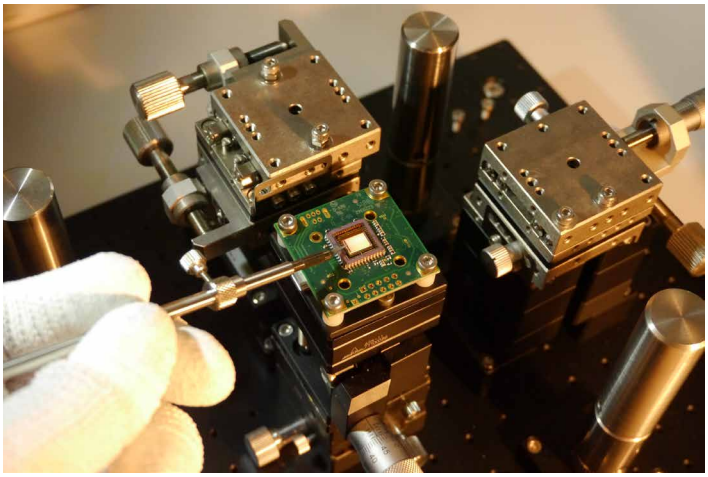
２０１８年４月に着任しました。以後、２０１９年４月に着任した高屋智久講師、新修士１年生の学生３名、新４年生７名とともに「光波応用工学研究室」を標榜して本格的に研究活動をスタートしました。私の研究テーマは可視・近赤外マルチスペクトル・イメージングのためのデバイス技術と信号処理技術の開発です。

ＣＣＤやＣＭＯＳイメージセンサといった「機械の眼」を使った非破壊検査手法は今や製造業のみならず農林水産業や医療などの様々な分野で用いられるようになりました。現在急速に発展を続けているＩｏＴとＡＩによる生産・品質管理システムにはこのような画像センサが欠かせませんが、現行のセンサの多くはヒトの眼と同じくＲＧＢの三原色でしか外界を捉えていません。三原色カラーセンサでは識別の困難な微妙な色の差や、対象物内部の情報を捉えるには可視から近赤外の広い波長域でより細かな波長識別のできるセンサが必要です。私の研究室ではこのセンサの中核部品であるマルチスペクトルフィルタを電磁界シミュレーションを利用して設計し、文科省ナノテクノロジープラットフォームの微細加工装置を駆使して試作し、センサに集積化する技術までを一貫して開発しています。

またそれと並行して、機械学習を利用したスペクトルデータの処理法や可視化手法といった情報工学的な側面についても研究しているところです。センサのハードウェアから自作している研究室は国内にもごく少数しかなく、学生諸君にはモノづくりと実験を通して当研究分野の面白さを味わってもらえればと考えています。



（図1）
試作した３６チャンネルマルチスペクトルフィルタの写真



（図2）
試作したマルチスペクトル画像センサの写真

Life with Green Technology
環境技術でひらく、豊かな暮らし
三協アルミ
富山支店ビル建材部
〒930-0982　富山市荒川3-2-6　TEL(076)492-0083

(社)全国旅行業協会正会員・富山県知事登録旅行業 2-214 号
海王交通 株式会社
旅行や各種送迎のご依頼など お気軽にお電話下さい
バス部
旅行企画 TEL 0766-82-6227
タクシー部 TEL 0766-82-6226
本　社 〒934-0011 富山県射水市本町３丁目 16-3
ホームページ　https://kaiwokotsu.com/

総合建設コンサルタント
信頼のおける技術で社会に貢献する
株式会社 建成コンサルタント
代表取締役社長　瀬　川　光太郎
本社　〒933-0014 富山県高岡市野村 284-1
TEL 0766(25)6097　FAX 0766(25)5697

富山県公安委員会指定
富山県
第一自動車学校
〒939-0274
射水市小島 715 TEL0766-52-0722
http://www3.canet.jp/users/td1

研究室の近況案内

機械システム工学科

熱流体工学講座

杉岡　健一准教授

私が本学に2014年10月に着任、学生が配属となる2015年4月に研究室がスタートしました。本研究室では、流動現象を詳細に把握することで様々な現象を解明し、それを利用することを目的として、数値解析と実験を行っております。主なものとして、①流体中で起こる2相間での運動量・熱・物質の移動に関する研究、②超高温での流体の熱物性の精緻な測定法の開発、③電磁場の印加された場での流動現象の解明をテーマとして研究を行っています。

どのテーマも、実験だけでは詳細の把握が難しく、数値解析だけでは現象の再現が難しいものです。①では、流れにより2相間の界面（水面など）は非常に複雑に現象が変化します。②では、溶融した金属などが対象で、温度は金属の融点以上ですので1000度を超えるものも多くあります。観察しても赤く光るばかりで現象がよくわからず、高温で溶けたり科学反応してしまったりするため測定器を入れることも難しいような実験になります。③でも、数kVの高電圧や数T（テスラ：ちなみにMRIは1.5T程度）の高磁場強度での実験になるため、実験は困難を極めます。そのため、実験だけではわからないことも多く、数値解析も行うことにより、現象の詳細の把握を行います。しかし、計算だけでは、現象の再現精度が分からないため、実験は必要です。つまり、計算により実験が補強され、実験が計算を保証するという形で研究がすすめられます。そのせいで、実験・数値解析合わせて2倍の困難に出くわすことになります。

以上のような研究を学生と試行錯誤しながら、研究に励んでおり、今後も励んでいきたいと思っております。何卒、同窓生の皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年度の研究室配属学生と（右から2番目が筆者）

大谷米太郎記念基金事業による大学院修学奨学金の支給について

大谷米太郎記念基金により平成27年度から実施している大学院修学奨学金について、去る2月3日に令和元年度支給決定通知式が行われ、5名の大学院生に、渋谷理事長から支給通知書が交付されました。

大谷米太郎記念基金は、本学の前身の県立大谷技術短期大学の開学に多大な貢献をされ、郷土愛の厚かった本県出身の実業家の大谷米太郎翁が出捐・設立された財団の残余資産をもととした基金です。翁（故人）やご子孫の願いを踏まえ、優秀な人材を育成するための学生支援事業として、本学を優秀な成績で卒業し、本学大学院博士前期課程に進学した1年次生を対象に、年間授業料の半額に相当する奨学金を支給しています。

今回、奨学金を受けられた皆さんには、学生の模範として一層勉学に励まれ、将来、優秀な研究者や技術者として活躍されることを期待します。

本学も、学生の皆さんの励みとなるよう、今後とも本事業による支援を続けてまいります。

（富山県立大学ニュース126号より転載）

研究室の近況案内

生物工学科

機能性食品工学講座

生城　真一教授

機能性食品工学講座は、健康の維持・増進、疾病の予防に役立つ機能性食品や医薬品の開発を目指した基盤研究を行う研究室として、平成16年4月に榊利之教授のもと開設されました。平成29年、医薬品工学科新設に伴い榊教授（バイオ医薬品工学講座）が異動され、その後任として生城が当講座を担当することになりました。

主要なテーマのひとつは食品中機能性成分の機能性発揮メカニズムの解明です。野菜や果物に含まれる機能性成分の多くはポリフェノール化合物として複数の水酸基を有しており、生体内に摂取された後に医薬品などと同様に異物抱合酵素によってグルクロン酸や硫酸基が転移された抱合体に変換され、その多くが胆汁や尿中に解毒排泄されます。生体内代謝による機能性成分の構造変換は化合物自身が有する機能性にも影響を及ぼすことが明らかにされており、そのグルクロン酸抱合や硫酸抱合の位置によって抗酸化能が大きく変動することから異物抱合酵素による代謝反応が機能性を評価する上でも重要です。このように食品成分の生理機能解明における代謝物研究の重要性にもかかわらず、代謝物自身の化学合成が困難であることから多種多様な化合物に対して簡便でかつ安価な抱合代謝物の合成法の確立が望まれていました。私たちは、出芽酵母発現系を用いた異物抱合代謝物調製技術を開発し、食品、医薬品代謝物の合成に成功しました。

現在、研究室には教員3名、大学院生3名、学部生6名、研究補助員2名が在籍し、日夜研究に励んでいます。食品に興味を持っている教員と学生の集まりなので、研究室には常に機能性食品、栄養ドリンク、発酵食品、発酵飲料などが揃えてあり、メンバーの誕生日には手作りケーキが待っています。卒業生の多くは県内外の食品・製薬関連企業に就職しており、産学連携プロジェクトで共同研究するケースもいくつか出てきております。今後も人材育成と地域貢献に日々邁進し、人々の健康と幸福につながる機能性食品開発の基盤となるような研究を進めていきたいと考えています。

機能性食品工学講座と医薬品工学科バイオ医薬品工学講座との集合写真

2

2は学部の数です。富山県立大学は2019年4月に看護学部が開設され、射水キャンパスの工学部、富山キャンパスの看護学部の2学部2キャンパス体制で動き出している。

「感謝」の気持ちと「技術」で応える
感動 につながる 仕事 づくり
砺波工業株式会社
代表取締役社長　上 田 信 和
砺波市中央町１番８号　TEL(0763)32-3105
http://www.tonamikogyo.co.jp

New infrastructure X
NiX
株式会社 新日本コンサルタント
本　　社 〒930-0857 富山市奥田新町1番23号
東京本社 〒110-0015 東京都台東区東上野6丁目1番1号
www.shinnihon-cst.co.jp

ゆたかな経験　確かな技術
総合建設業
中越興業株式会社
CHUETSU
代表取締役　山 下　博
本社　富山県南砺市野口800番地　TEL (0763)62-1221
富山支店・岐阜営業所　FAX (0763)62-1222

地域の未来をつむいでいきます
測量／設計／補償／地籍調査／３Ｄレーザー計測／システム開発
株式会社 上 智
本社 〒939-1351 富山県砺波市千代176番地の1
TEL 0763-33-2085　HP www.johchi.co.jp

研究室の近況案内

医薬品工学科

バイオ医薬品工学講座

長井　良憲教授
https://www.pu-toyama.ac.jp/PH/nagai

2018年4月より医薬品工学科バイオ医薬品工学講座で教授をつとめております長井と申します。着任後、早くも2年が経過しましたが、その間は仮設校舎で研究室のセットアップと新たな研究テーマに取り組んで参りました。本年3月に新しい教育研究棟（中央棟）の7階に移動し、本格的に研究をスタートしました。2019年10月からは研究室配属の学生3名が、また本年4月からは修士課程大学院生1名が参加し、ようやく研究室の形になると共に、研究プロジェクトが本格的に稼働しました。今後は富山から世界へと発信できる研究を推進したいと考えております。

私達の研究室では、原始的な免疫系である自然免疫のメカニズムを研究しています。私は大学院生時代より自然免疫の分子メカニズムを遺伝子改変マウスやモノクローナル抗体の作製を通じて研究してきました。近年、自然免疫の異常は、様々な慢性炎症性疾患の発症に繋がることが分かってきています。私はもともと内科医ですので、病気の成り立ちに興味があります。そこで現在では、自然免疫異常が関わる疾患の病態解明とその治療薬の開発を推進しています。一部の研究では、県内の医薬品メーカー様及び国内の共同研究者と連携し、免疫難病の治療薬開発を推進しています。それ以外の研究では、モデル動物を用いた慢性炎症性疾患の病態解析に取り組んでいます。研究室には最新の細胞解析機器（フローサイトメーター、セルソーター等）が複数台あり、免疫や炎症の解析に最適の環境が整っています。地域の研究力向上にも貢献したいと思っておりますので、私達の研究にご興味がございましたら、ご一報頂けますと幸いです。

今後は世界にアピールできる研究を推進すると共に、「くすりの富山」を支える技術者・研究者の育成に貢献したいと思っております。会員の皆様には、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

実験室に設置されている最新の細胞解析装置
（フローサイトメーター、セルソーター）

看護学部スタートの１年

看護学部長　竹内登美子

医療・看護ニーズの高度化・多様化に対応する看護人材育成のために開設した看護学部は、工学部との２学部体制となったことから、看護学と工学の連携を強みとした教育と研究に力を注いできました。そのための環境整備、例えば２学部間を往復するスクールバスの増便や、看護技術を映像や数値で可視化して学ぶための機器の購入等、看護学部に対する皆様の温かいお心遣いはとても有難く、心から感謝を申し上げます。

この１年間で学生が高い関心を示した科目の一つに、包括的コミュニケーション技法を学修する『看護ケアとユマニチュード』があります。ケア技法のみならず、その基盤にある“人間の尊厳とは”“自由とは”等を深く考えさせられる哲学にも、大きな影響を受けたようです。「ユマニチュードの授業を受け、この大学に入ってよかった」という学生の声もありました。

キャリア形成科目の『トピックゼミ』では、少人数教育によって物事を多様な観点から考察する力や、主体性を培う教育を展開しています。担任制をとらないで、ゼミの教員が学生のメンターを兼ねるという体制をとっており、ゼミ学生と教員との日常的な関りによってお互いの関係性が深まり、学修効果が高まってきているように思えます。

１期生の本格的な看護学の学修は、これからです。成長し続ける看護学部を、引き続きよろしくお願いいたします。

（富山県立大学ニュース 126号より転載）

しょく
みんなの
よい食
プロジェクト
富山県ＪＡグループ

研究室の近況案内

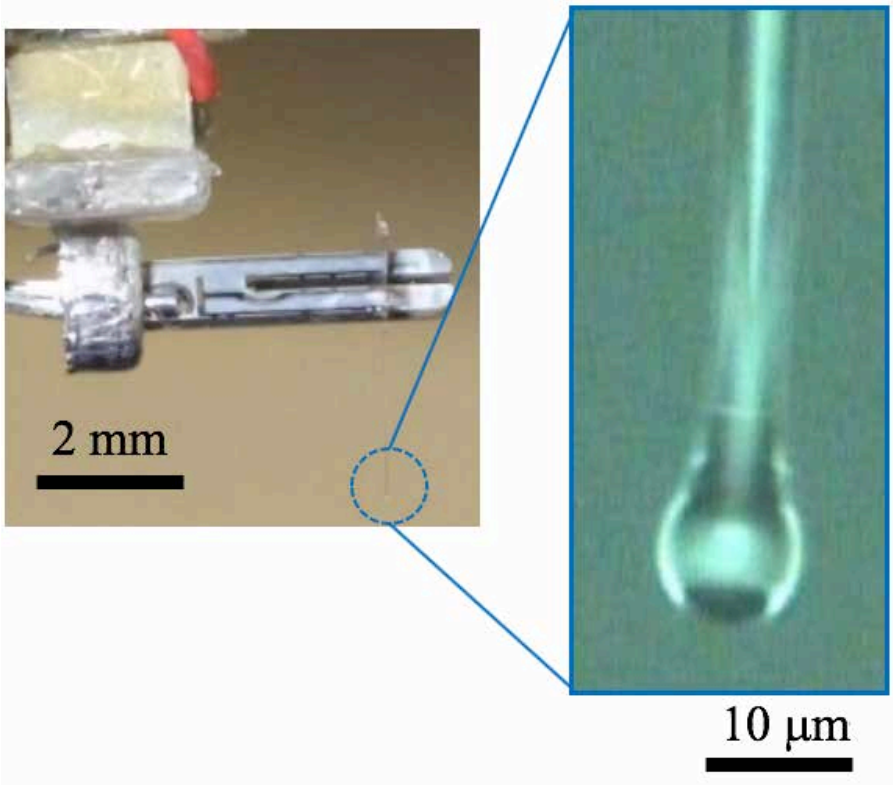
知能ロボット工学科

知能センシング工学講座

伊東　聡准教授

2017 年 4 月に知能ロボット工学科に着任した伊東 聡と申します。講座紹介については第 13 号と第 14 号で神谷先生と佐保先生よりご紹介がありましたので、ここでは割愛させて頂きます。

ロボットや機械が正確に動くためには設計図通りに製作された部品を正しい位置に取り付け、意図した通りに動作することの確認が必要です。しかしながら、実際には加工や組立の誤差が生じ、目論見通りの動きをしないことが多々あります。近年では、髪の毛の 1/100 未満 (1μm) の加工精度も機械で容易に達成できるようになり、計測技術には加工精度の 1/100 (10 nm) から 1/1000 (1 nm) の細かさや精度が要求されています。本研究室ではこのような要求を満たすために、機械部品の形状 / 寸法をナノメートル精度で超精密に計測するマイクロプローブ (図 1) を用いた三次元測定機の開発に取り組んでいます。この研究では、従来のプローブ型測定機では測定誤差の原因であった表面吸着力を積極的に活用することで、超高感度検出とナノメートル測定精度の達成を可能にしました。



(図 1) 開発した高感度マイクロプローブ

また現在のものづくりでは国内外の様々な工場を経由する製造過程が増加し、品質保証や測定精度補償が重要な課題となっています。近年ではセンサ技術やネットワーク、情報技術の発展により大量のデータを取り扱うことはできますが、一方で測定機自体や測定結果の信頼性はより一層重要になっています。本研究室では国家標準や国際規格にトレーサブルな測定の実施や測定機の校正方法の研究に取り組み、測定機自体の誤差や測定の行為自体の正確性を不確かさという国際的な尺度で評価する研究や教育にも力を入れています。正確さが保証された計測技術の発展により、社会やものづくりの安心と安全に貢献できるように今後も努めていきたいと思います。

大学ニュース

役職教員

- 副理事長・学長　下山　勲　教授
- 副学長・工学部長　中島　範行　教授
- 看護学部長　竹内　登美子　教授
- 教養教育センター長　福原　忠　教授
- 工学部主任
  - 機械システム工学科　中川　慎二　教授
  - 知能ロボット工学科　神谷　和秀　教授
  - 電気電子工学科　大寺　康夫　教授
  - 情報システム工学科　太田　聡　教授
  - 環境・社会基盤工学科　川上　智規　教授
  - 生物工学科　五十嵐　康弘　教授
  - 医薬品工学科　米田　英伸　教授
- 看護学科長　岡本　恵里　教授

昇　任

- 工　学　部
  - 教養教育センター　川上　陽介　教　授
  - 教養教育センター　古澤　之裕　准教授
  - 機械システム工学科　寺島　修　准教授
  - 知能ロボット工学科　澤井　圭　准教授
  - 電気電子工学科　小島　千昭　准教授
  - 情報システム工学科　木下　史也　講　師

退　職

令和 2 年 3 月 31 日をもって退職されました。長い間お疲れ様でした。

松田　敏弘　電子・情報工学科　教授

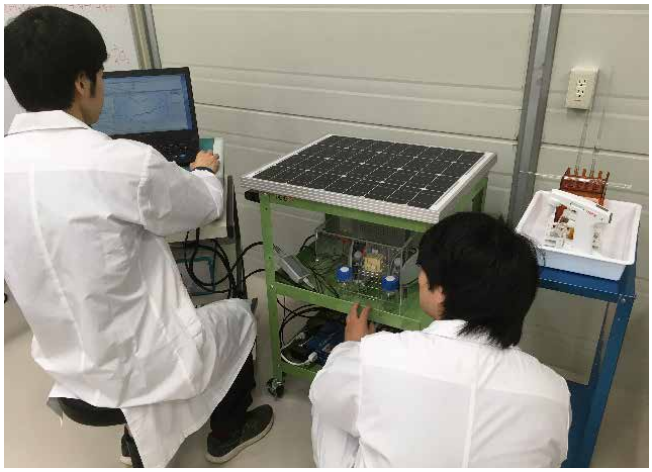
研究室の近況案内

環境・社会基盤工学科

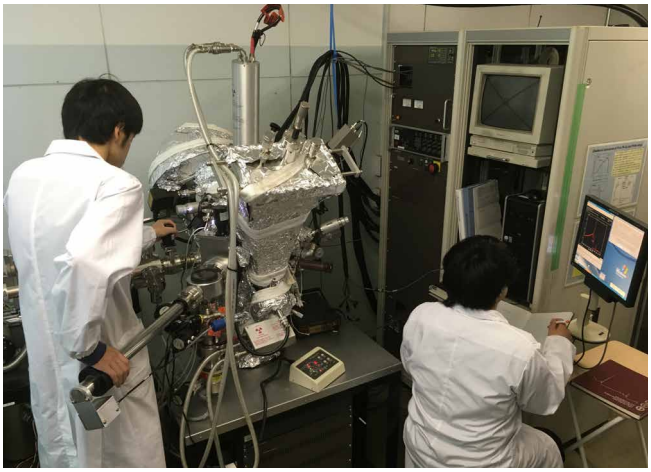
環境工学講座

脇坂　暢教授

地球温暖化による深刻な気候変動が近年取りざたされています。化石燃料に依存しない低炭素社会の実現のためには、再生可能エネルギーの有効利用と新しいエネルギー供給網 (サプライチェーン) の構築が必要となってきます。水素は最も有力な代替エネルギー媒体 (キャリア) の一つです。水素は、燃焼によって熱エネルギーに、燃料電池によって電気エネルギーに変換することができ、利用時に二酸化炭素を排出しません。富山県でも今年 (2020 年) に入り商用水素ステーションが北陸で初めて開所され、燃料電池自動車への供給が始まりました。ただし、水素ガスは地球上において天然資源ではありません。従って、別のエネルギー源から水素を製造しなくてはいけません。幸い、水素は再生可能エネルギーと親和性が高く、太陽光発電による余剰電力で水を電気分解して水素を作ることができます。私たちの研究室では、再生可能エネルギーと結びつけた水素エネルギーキャリアの製造・貯蔵・利用に関する研究を行っています。具体的には、水電解や燃料電池に用いる電極触媒 (実際に反応が起きるところ) の高性能化や、安全に水素を貯蔵する有機ハイドライド法の確立を目指して研究を行っています。また、光や電気を使うことでエネルギー消費や廃棄物を極力抑えた医薬品原料の新たな製造方法の開発にも挑戦しています。研究は実用化を目指したデバイスづくりから、高エネルギー加速器研究機構の放射光施設を利用した最先端実験まで幅広く行っています。



太陽光発電と組み合わせた有機ハイドライド製造装置の開発



電気化学 - 光電子分光複合装置を用いた燃料電池反応解析

集まってます

デバイス研究室１期生
宇於崎 秀夫

昨年の 10 月 26 日に、10 期生卒の麻生さん、清水さん幹事にて「松田教授退官記念デバ研大同窓会」がオークスカナルパークホテルにて開催されました。

参加者は、松田先生や岩田先生に加えて、大曽根先生にも参加頂き、全国や海外から賛同した同窓生が集い、総勢 40 名の会となりました。

実は、この月に発生した台風 19 号の甚大な被害の影響を受け、急遽参加出来なくなった方も多数おられましたが、なんとか参加出来たメンバーにて盛大に開催し、同窓生から松田先生への感謝を伝えることが出来ました。

また、変わらずまだまだ現役で研究を続けられて、元気な大曽根先生のミニ講話を聞いたり、同窓生の現在をパワーポイントを使って報告しあったりして旧交を深めました。

この集ったメンバーで今年の夏の県大同窓会にも参加するぞー！と盛り上がったのですが、今年はコロナ禍の影響で中止となり非常に残念です。また来年、今回参加出来なかったデバ研メンバー含め皆さんに会えるのを楽しみにしています。

私の好きなもの

熊野　誠（くまの　まこと）

技術短期大学　衛生工学科　1981年卒

①太鼓

私が太鼓に関わったのは、高校生の体育祭の時に応援で太鼓を使ったことが最初でした。その後、社会人になってから地元に伝わる太鼓保存会に誘われて太鼓の持つ奥深い魅力を感じたのがきっかけです。太鼓を打つのは手で持つ２本のバチですが、体全体で表現することが出来、「間」と「所作」を取り入れ、人に感銘を与えるような太鼓打ちを目指しています。

②車

車の免許を取得したのは、短大に入ってからの夏でした。最初に購入した車は中古で何時壊れてもおかしくないような物でした。その後、何台か乗り換えて気が付くと色々なジャンルの車を次から次へと乗り継いでいる状況でした。４駆のジープ、フォードキャンピングカーや三菱バスなどの普通では乗らないようなジャンルの車も乗りました。今となっては、とても良い思い出ですね。

③まつり

若い頃からまつりが好きで、仕事よりも祭り大好き人間でした。先輩方の良いところを真似て覚えることが好きでした。今でも笛や太鼓の音を聴くと血が騒ぐのが判りますね。

《近況》

脳梗塞で倒れてから４年が経ちました。さすがに倒れた時は「もう駄目かな？」などと考えましたが、何とか普通に生活が出来るまでには回復しました。車の運転にも支障は無く、好きな車にも乗ることが出来ます。まつりにも現役としての参加は無理ですが、世話をする側として協力しています。太鼓については、後遺症が有るので、今までのようには太鼓を打つことは出来ていませんが、「シニア」として味のある太鼓打ちを目指してみるのも良いかなと思っています。人生これで良いと言う言葉はありません。これからも、一生懸命に生きたいと思っています。

「となみ伝承やぐら大祭」にて（熊野誠さんは左端）

今井さん米作りの句碑を自宅の庭に

大谷・草農業科１期生・1965年卒・茶華道部OB

今井秀昭さんが砺波市自宅の庭に米作りを詠んだ俳句の句碑を建てた。農家に生まれ草農業科を卒業後、県職員として作物研究員、稲作技術者、農業普及など、常に米作りに関わってきた。15年前から俳句の結社「辛夷」・句悠会に属して俳句を作り続けてきたが15年目の節目の今年、思い入れのある７句の句碑を建てた。それを記念して俳句の仲間を呼び句会を2020年6月16日に今井さんの庭にある茶室で開いた。

今井さんは大学の茶華道部のOBで赤間宗民先生から裏千家茶道を習い、裏千家青年部全国委員や富山支部幹事長、富山県茶道連盟理事長などを歴任している。自宅には茶室「松稲庵（しょうとうあん）」がある。当日は句会のあと、抹茶で楽しんでもらい和やかな内に会を終えた。奥さんの準子さんも大谷・応用数学科の７期生、日本画で県展連続入選、また人権擁護委員としても活躍中です。

米作り　辛夷同人　喜寿　今井秀昭

砺波野の稲株見ゆる春の雨
春耕のこだます野良に腰を置く
代掻きの人影遠き夕まぐれ
寝返りや田植え疲れの目覚めがち
秋雨に倒れし稲に心痛む
十三夜鍵穴照らし家に入る
夕暮れに立ちて我が家の刈田風

庚子　東京五輪年　造

富山県農業研究所へ寄贈

句碑の前で句悠会のメンバーと
（今井秀昭さんは左端、準子さんは右端の和服）

ポートランド州立大学語学研修

報 告 書

環境・社会基盤工学科　1年　今田　響介（いまだ きょうすけ）
生物工学科　2年　小野木　菜々（おのぎ なな）
生物工学科　2年　前沢　菜緒（まえざわ なお）
（学年は当時）

2019 年 8 月 22 日 (木) から 9 月 15 日 (日) 25 日間、米国ポートランド州立大学語学研修に参加した 3 人のレポートです。

◆オレゴン州ポートランド州立大学◆

1946 年に設立され、226 以上の専攻を提供するオレゴン州最大の総合大学。在学生 30,000 人のうち、留学生は約 2,000 人。オレゴン州は 1991 年に富山県と友好提携し、富山県と最も結びつきの強い米国の州。

私を変えてくれました

今田　響介（いまだ　きょうすけ）
環境・社会基盤工学科　1 年

私は今回の海外研修を通して多くのことを学び、体験しました。他のホームステイプログラムの参加経験がありますが、新たな緊張感を持ってこの研修に参加しようと思いました。今回の研修で印象に残ったことを述べます。

まずはホームステイについてです。私はホームステイ初日とそれ以外の日とで滞在先が違っていました。しかしどちらも優しく面白い家族でした。初日のホストファミリーとはドライブやバーベキューをして楽しみました。二日目以降のホストファミリーとはホームパーティをしたり、さまざまな場所へ行ったりしました。日本ではホームパーティをすることはあまりないので貴重な体験でした。また、ホストマザーは私の誤った英文法を教えてくださいました。

次に授業についてです。午前は主に英会話、午後は主にホスピタリティ（歓待）について学びました。午前の授業はグループ活動を主として授業を受け、最後のプレゼンテーションは劇を考えるものです。緊張しましたが、成功を収めることができました。午後は、今まで体験したことのない授業で、レストランへ訪れて店の印象などを書いたり、家の場所を紹介したりしました。最後のプレゼンテーションは、1 週間を 4500 ドル以下で満喫できる旅行計画を考えるものです。班で計画を立てるのは貴重で良い経験となりました。

最後にプログラム全体を通して感じたことを述べます。今回の海外研修は私を変えてくれました。内気な性格であまり発言しないタイプでしたが、アメリカに行って他の人と会話をすることで積極的に喋るようになりました。この研修には他の日本人大学生も多数参加しており、年が離れていても仲良く会話をし、友だちになることができました。県や国を超えて仲良くなることは楽しいことだと思いました。

この研修で得たもの全てがあらゆる場面において必要で、不要なものはないと感じました。他の学生にも是非この研修に参加してほしいと思います。

ホストファミリーと

フレンドリー

小野木　菜々（おのぎ　なな）
生物工学科　2 年

わたしはポートランド語学研修に参加しました。わたしがこのプログラムに参加した理由は他の国の文化を体験し、英語を上達させたいと思ったからです。初めての留学ということでとても緊張しました。まず、学校生活では午前は口頭のテストで分けられた少人数クラスで授業を受けました。ゲームをしながら英語を学んだり、スーパーや美術館やファーマーズマーケットに行ったりしてリサーチをしたりしました。午後は事前に希望していたポップカルチャーというクラスを取りました。この授業はポートランドの服装、芸術などといった文化を学びまし

た。また教室で勉強するというより課外活動が多く、とても楽しく色々な経験ができました。ホームステイでは私は同じ学科のなおさんと２人で同じ家でお世話になりました。初めて会った時は「どんな人なんだろう」と緊張と不安でいっぱいでした。しかし、ホストファザーの Peter とホストマザーの Kay は私たちのために毎日色々なところへ連れて行ってくれたり、ご飯をごちそうしてくれたりして素晴らしいおもてなしをしてくれました。

わたしがこのプログラムを通して１番驚いたことはアメリカ人のフレンドリーな対応です。実際にホストファザーはスターバックスの定員さんに "How are you?" と尋ねられそこからしばらく会話を楽しんでいました。それだけならまだ理解できます。しかし Peter は、お店の中や道ですれ違っただけの年齢も性別も違う人にも急に話しかけて会話を楽しんでいました。最初にそれを見たときは知り合いと話しているのかなと勘違いしたくらいです。それは Peter だけでなく他のアメリカ人も優しくとてもフレンドリーでした。さらにジョークを交えて面白い会話をしていました。私はこのフレンドリーな文化が日本にあったらいいなと思いました。「年齢・性別・人種の壁を全く感じなく、一人一人が個性を持って生き生きとして街を歩いている」それがアメリカにあって日本には無いことだと思います。このプログラムで貴重な経験をすることができました。

中央：小野木、右：前沢（ホストファミリーと料理）

充実した日々

前沢　菜緒（まえざわ　なお）
生物工学科　２年

自分の英語力の向上や実際に海外に行って生活しないと実感できない海外の文化や日本との違いを知りたいと思い、今回のポートランド州立大学語学研修に参加を決めました。この研修は、大学が手続きなどのサポートしてくれるのに加え、英語の単位を取得できるということもきっかけのひとつでした。最初のころは、私自身英語が苦手なこともあって、なかなか会話の内容を聞き取ったり、話したりするのが難しく、何度も聞き返しており、英語でのコミュニケーションの難しさを痛感しました。しかし、現地の先生やボランティアの学生、ホストファミリーは何度も聞き直す私にはっきり発音し直してくれたり、わかりやすい別の表現に言い換えてくれたりと、とても真摯に接してくれました。特にホストファミリーは、ビーチや滝、レストラン等様々な場所に連れて行ってくれたり、ボードゲームやラフティング、バーベキュー等いろいろなアクティビティをしたりして、とても充実した日々を過ごすことができました。

ポートランド州立大学での授業は、午前と午後で内容が分かれており、それぞれ３クラスに分けられた少人数の授業でした。午前中の授業では主に発音やライティングについて勉強し、課外授業では博物館や美術館に行きました。午後の選択授業では、ポートランド市内を観光したり、レストランで実際に食事をしたりしてサービスやチップの支払い方を学びました。最後のまとめでは、午前の授業はグループでスキットを考えプログラム参加者全員の前で発表、午後の授業では、同じく全員の前でパワーポイントを使用して、家族４人、予算 4500 ドルで考えた一週間の旅行計画のグループ発表をしました。どちらも、英語で分かりやすく、聞き手に興味を持ってもらえる内容を考えるのが大変で苦戦したが、終わった後は達成感でいっぱいでした。この留学を通して、海外の方とコミュニケーションを取るには、日本に帰ってからももっと英語の勉強が必要だと思いました。この経験をこれからの日本での英語学習に活かしていきたいです。

中央：前沢、右：小野木

理化学器機・産業器機　　計測・試験機器

山　本　理　化
山　本　文　雄

〒939-8046 富山市本郷新 63-5
TEL：(076)461-4773　FAX：(076)461-6957
E-mail：yamamoto-rk@fancy.ocn.ne.jp

中国・大連での企業実務研修

報告書

2019年8月24日～8月31日の8日間、富山県と大連YKKジッパー社の共催で、中国・大連での企業実務研修が行われました。参加した富山県立大学生のレポートです。

生物工学専攻・修士1年　中山　舞
（学年は当時）

Gap Challenging

中山　舞（なかやま　まい）
生物工学専攻　修士１年

＝研修参加の目的・動機＝

私が本研修に参加した目的は、日本と中国のGapを感じ取るためである。文化や生活環境だけでなく、日系企業の会社内の雰囲気、現地で働く人々の様子などは実際に目にしなければわからない。そこで“Gap Challenging Program”に参加し、現地の人々との交流を通じて目的の達成を試みた。

＝研修内容＝

8/24　日本出国・大連入国、YKK社員寮の施設使用説明

寮生活施設（食堂、シャワー等）の説明を受けた。寮内には食料品から日用品まで品揃え豊富なコンビニがあり、日本製の物も売られていた。卓球やビリヤードなどの娯楽施設もあり、毎晩研修生と楽しんだ。

8/25　旅順（博物館、203高地）、大連市内（星海広場、旧日本人街等）観光

大連の観光地を巡った。中国と日本に関する歴史を学んだ。203高地は急な傾斜が続き大変であったが、頂上に到達したときの景色は素晴らしく忘れられない思い出となった。

図１　研修生と共に

図２展望台から観た旅順の景色

図３　203高地にて集合写真

8/26　大連YKKジッパー社工場見学、チューターとの交流会、YKK AP訪問

日本語が話せる中国人社員の方に工場を案内していただいた。また、部長のお話もあり大連YKKジッパー社の歴史や企業概要だけでなく日本のYKK株式会社との違い、大連に進出している日系企業についてなども学ぶことが出来た。

図４　YKK AP訪問

8/27　企業見学（トナミ・コニカミノルタ物流センター、タカギセイコー）

物流と金型製造について学んだ。トナミ運輸の岡崎総経理のご講演では、中国の物流の歴史についてだけではなく、プレゼンテーションを行う際の秘訣も教えて頂き、今後役に立つ数多くの事を学ぶことが出来た。

8/28　企業見学（大連ソフトウェアパーク、大成律師事務所）、大連富山企業会との意見交換会

大連ソフトウェアパークでは、日系のIT企業について説明を受けた。将来の即戦力となる人材育成に力を注いでいた。意見交換会では総経理らと席を共にした。岡崎総経理と息が合い、名刺を頂くことも出来た。

8/29　大連外国語大学訪問、大連市内視察（マイカルデパート）

日本語学科を専攻している学生らと交流した。現地の人々は非常に明るく、日本に興味を持っている方が多いことがわかった。デパートで200円で購入したタピオカは日本よりも安くて美味い。

図５　現地生徒との交流（左：中山）

図６ゴンチャのタピオカ

8/30　YKK工場内にて仕事体験、研修発表会、大連YKKジッパー社社員らとの夕食会

YKKの社服を着用して工場内でファスナーを実際に作ったり、モノづくり館でポーチを作ったりした。ファスナーは実際に製品として販売されるそうだ。

図７　夕食会の様子

8/31　大連出国・日本帰国

＝研修の成果＝

私が本研修に参加した目的は、Gap を感じ取る事であった。研修内では複数の企業を見学させていただいた。その中で、私が感じた Gap は２つある。１つ目は、中国では女性技術者の活躍が活発であるということだ。今回、大連 YKK ジッパー社をはじめ、様々な分野、業種の企業を見学させていただいた。いずれの企業でも、「性別で仕事内容に差はつけない」この考えが根本に備わっていると感じた。事務作業を行っている方、開発業務を行っている方、工場の製造ラインに立ち男性と同様に作業している方、中には女性しかできない繊細な作業を任されている方など様々な場面で女性の活躍が見受けられた。日本の企業は男性が行う仕事と女性が行う仕事がわかれていることが多い。開発職に就く女性の数も少ない。その反面、中国は女性も活躍することが出来る男女平等社会であり、また若くしても上の立場にたつこともあるという能力社会であると実感した。

２つ目は、主体性である。中国の方は行動力、発信する能力が非常に高い。これは本研修で私が一番感じたことである。そして多くの日本人には備わっていない能力であると思う。日本のように歩行者のために車は止まってくれず、恐れずに行かなければ道を横断することすら難しかった。また中国の方は１つでも多く知識や技術を身につけるために転職を繰り返してスキルを磨き上げると伺った。そして何より、女性の方が働くことに対して積極的である。私が学んでいる富山県立大学は女性の生徒数が非常に少ない。これは女性が活躍でき目立つことができるチャンスであると考える。トナミ運輸の岡崎総経理のお話の中にもあったように、個性を生かしてそして私が得意とする分野で、自分に合ったやり方で日本での女性の社会進出の立役者になりたい。

図８　女性技術者 の 卵？？

＝まとめ＝

Gap を感じ取るという目的を達成することが出来てよかった。私は将来、製薬会社に就職し研究開発職に就きたいと考えている。自分が成長するためには何か行動しなければならない。いくら良い考えを持っていてもその考えを外に発信しなければ意味がない。行動せずに支持を待っているだけではおいて行かれると思う。自分自身がパワーアップするために学ぶ事に貪欲になりたい。学生生活はあと１年半ほどしかないが、まだ１年半も学ぶ事ができるこの目の前にあるチャンスを無駄にせず、１つでも多くのことを吸収して社会に出たいと思う。

私が感じた２つの Gap を通して学んだことを生かし、ハングリー精神を忘れずに国境を越えて活躍する女性技術者を目指す。

最後に、本研修に参加して非常に良かったと思う。実りある時間を過ごすことができた。もし今後、留学するか悩んでいる人がいたら参加を勧めたい。是非、多くの人に参加してほしいと思う。

本研修に参加するにあたりご支援、ご指導くださった大連 YKK ジッパー社の皆様、企画・運営してくださった大連事務所、富山県庁職員の皆様、本当にありがとうございました。

水と寄り添うテクノロジー。人と街に、安心と潤いを…
水機工業株式会社
SUIKI
代表取締役　大井　茂
本社／富山市黒崎172　TEL:076-491-2533㈹
http://www.suikikogyo.co.jp/

測量・設計・補償・調査・計画・施工管理
OGAWA
株式会社 雄川（おがわ）コンサルタンツ
代表取締役　雄　川　薫　雅
本社：〒939-1357 富山県砺波市小杉 213 番地
TEL：0763-33-5628　FAX：0763-33-2895
支店：小矢部・入善・南砺・高岡・立山・射水・氷見
URL：http://www.1956ogawa.co.jp

総合建設コンサルタント
北建コンサル株式会社
KITAKEN
測量・調査・設計・補償
代表取締役社長　鷲　北　慎　一
本　　社：〒933-0941
高岡市内免３丁目３-６
TEL:(0766)23-3666(代)　FAX:(0766)23-3987
支店／射水・南砺・東部・小矢部・氷見・金沢

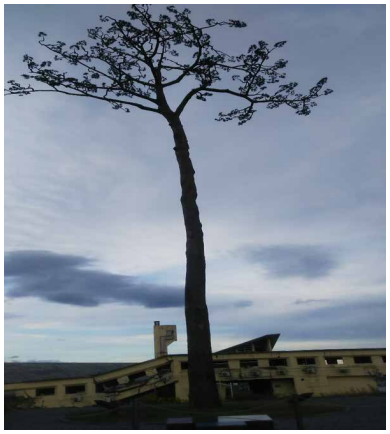
未来の自然をデザイン　それが私たちの仕事です。
北陸コンサルタント株式会社
代表取締役　榮　　知之
本社／富山市黒瀬 192 番地　TEL.076-493-7717
http；//www.hoku-con.co.jp

東日本大震災の被災地を訪ねて

富山県立大学同窓会会長　野開 勝政

私達の記憶に新しい 2011 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生し巨大な津波の凄まじさ、福島第一原発事故など社会的な混乱、不安を覚えた時から早９年が過ぎ去りました。

昨秋、前職場の後輩が宮城県石巻市に災害復興応援職員として派遣されていたことから激励と震災復興状況を自分の目でも確かめたく行ってきました。



奇跡の一本松と被災したユースホステル

初日は震災からの復興への希望を象徴する岩手県陸前高田市の「奇跡の一本松」を見に行きました。震災前には７万本余りあった松林の中で１０ｍを超える津波から奇跡的に生き残った１本の松も震災後しばらくしてから枯死した為、今はモニュメントとして保存されています。この陸前高田市は大津波により市役所庁舎を含む市中心部の７割以上が壊滅したそうです。現在は海岸沿いに巨大な防潮堤（高さ 12.5m、延長約 2km）と昨秋オープンした震災伝承施設を併設した道の駅「高田松原」以外ほとんど荒涼とした空き地が広がり復興にはまだ相当な年月がかかると思われました。海沿いのスタンドで給油したおり、当時の津波の話を聞かせてもらいましたが想像を絶した津波の怖さを今でも忘れることは出来ないとおっしゃっていました。でも被災地の皆さんは元気に力強く前を向いて頑張っておられます。

この日は気仙沼で泊まり、二日目は三陸海岸沿いに南下し、石巻市内では後輩職員に復興場所を案内してもらいました。自分が今回どうしても行きたかった北上川河口から４キロ上流の川沿いに位置する震災遺構として残っている「大川小学校」です。

あの震災で７４人もの児童が亡くなった校舎跡前には、慰霊碑や供養塔が建てられ、今なお絶えることなく慰霊される人そして多くの生花が手向けられ線香が焚かれていた。津波到達までかなりの時間があったのになぜ裏山に避難出来なかったのか・・・。多くの子供達の無念さを思うと胸が締め付けられ熱いものがこみ上げてきました。

被災地にはこうした震災遺構がいくつもあります。残すか壊すか賛否があったと聞いていますが、このような震災遺構は風化させてはいけない場所であると同時に、過去に蓋をするのではなく向き合うことで未来を作るということも肌で感じました。同窓生の皆さんにもぜひ被災地を訪れ寄り添う支援そして災害への備えを再確認して頂ければと思います。

この旅紀行を書いている３月は新型コロナウィルス感染大流行で学校は休校、イベントも軒並み中止となっており、東京オリンピックの開催も延期となりました。一日も早い終息を願うばかりです。

さて、大学では知の拠点として社会のニーズに応じた大学づくりが着々と進められており、９階建ての新校舎も完成し素晴らしい環境の中で授業が行われています。

我々同窓会といたしましても、引き続き学生や大学当局からも期待され、愛される同窓会活動にしていきたいと考えていますので、本年も会員皆様のご理解とご協力よろしくお願い致します。

はてなクイズ

富山県立大学は工学部と看護学部の○学部制です。　（ヒント：7ページの「この数字をご存じですか」を見て下さい）

答えは　○学部制

☆同封のはがき、またはメールで答えと住所・氏名を書いてご応募下さい。正解者 10 名に図書カード (500円) 進呈。正解者多数の場合は抽選とします。締切９月末（当日消印有効）。答えと一緒に「千瓢」の感想も書いて下さい。

〒 939-0398 富山県射水市黒河 5180
富山県立大学同窓会事務局
E-mail　senpyokai@pu-toyama.ac.jp
ホームページ　https://tpu-dosokai.jp/
※ホームページからもご応募できます。

「千瓢」14号クイズの答え

富山県立大学の新学長 下山勲氏は何代目の学長ですか？

答えは　　７代目

正解者の中から抽選で 10 名の方に、図書カードをお送りしました。
おめでとうございます。

令和元年度同窓会総会・講演会・懇親会報告

令和元年度実行委員長　橋本　隆志
短期大学部　環境システム工学専攻 2007 年卒

令和最初の同窓会総会、懇親会は、県立大学射水キャンパスにて８月11日（日）開催されました。総会・講演会は県立大学大講義室にて、そして、懇親会は食堂にて行われました。

今回は総会に先立ち、旧短大学舎（環境工学棟）見学の機会を設けました。この催しは、主に旧短大卒業生の皆様に向けて、取り壊し前に思い出の詰まった学舎の姿を見ていただこうと同窓会で企画したものです。卒業生やその家族の方を含め多くの方の参加があり、在学時の思い出を語りながら見学されるなど、懐かしむ姿が見られました。

総会では２年に１度の役員改選があり、その他含め、全議案、無事、可決されました。

記念講演会では、奥川先生、楠井先生の順で講義いただき、県立大学のこれまでの歩み、取り組んだ研究、施策などを語って頂きました。施策のうち、記憶に新しいものでは、特色ＧＰに選定されたフィールド実習です。これは私が在学中に始まった授業であり、現在も続いているとのことでした。その他、専攻科の設置、４年制への移行などを説明いただきました。会の終わりには、実行委員の渋谷さん、清水さんからそれぞれ、奥川先生、楠井先生へ花束が贈られ、出席者を交えた記念の集合写真撮影が行われました。

懇親会について、出席者の顔ぶれとしては、実行委員会からの声掛けもあり、特に環境工学科の卒業生の参加が多くみられました。余興として、講演いただいた両先生そして、渡辺先生、高橋先生に登壇いただき、実行委員会の面々ともに、楠井先生、奥川先生にちなんだ思い出話や近況を語って頂きました。懇親会が始まると、時間の流れが早く感じ、あっという間に余興、中締めとなりました。歓談の時間をもっと取れればとの思いもありましたが、会場の雰囲気は卒業年次の壁を感じさせない、一体感が出来上がっておりましたので、参加の皆様には概ね満足いただけたのではと思っております。お盆前というお忙しい時期ではありましたが、多数の出席をいただき、盛況のうちに会を終えることができました。

実行委員会について、自分史上、初めてこうした機会に推薦された身であり、さらに、実行委員長にもなり、出だしは不安しかありませんでした。しかし、炭谷さんをはじめ、懇親会運営経験者である同窓会役員の皆様からの多大なバックアップ、そして優秀な実行委員との活発な意見交換の積み重ねにより、無事、成功という形で締めくくることができました。今回の経験は委員にとっても、大きな成長につながったと思います。こうした機会を与えてくださった楠井先生、奥川先生には実行委員会を代表してお礼申し上げます。

最後になりますが、富山県立大学及び同窓会の更なる発展を祈念しております。ありがとうございました。

全体記念撮影

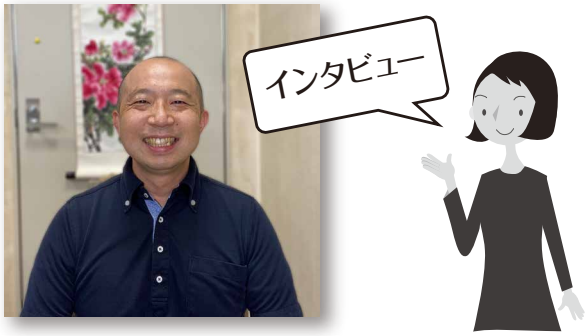
講演会の様子

楠井先生、奥側先生へ花束贈呈

懇親会の様子

知能ロボット工学科
岩井　学（いわい まなぶ）教授

たい焼き世界一に挑戦
～マルチに活躍する岩井学さん～



◆たい焼き

富山県立大学の知能ロボット工学科教授の岩井学博士が今取り組んでいるのが､｢たい焼き｣プロジェクト。大学で「たい焼き」と驚かれるかも知れませんが、岩井教授は大真面目。

これは高岡戸出の北辰工業所（定塚康宏社長）が数年前に今迄のたい焼きの大きさ世界一が８７センチなので、それではと高岡の鋳物の技術で世界一に挑戦して、全長１メートルのたい焼き機を完成させたことから始まる。

完成したが､実際たい焼きを作ると問題が山積み、一番厚いところで１８センチも有り熱が均等にならずに、生焼けや黒焦げになった。その話を聞き、岩井さんがその解決に乗り出した。

学生の地域課題解決型授業の一環としてゼミの学生と共にプロジェクトがスタート。このプロジェクトは北辰工業所と高岡向陵高校と岩井ゼミの共同プロジェクト。熱の伝導を調べて頭の方が熱の温度が高いことが分かり温度を調節し、多くの問題を一つ一つ解決していった。だが根本的に解決しないのは巨大たい焼きが出来るわけだから、それを切り分けするとしっぽは生地だけ、真ん中は餡だけになり、あまり面白くない。そこで考え出されたのが、ミルフィーユ方式、生地と餡を層にして、たい焼きを焼く。その方式で 2019 年 10 月 26 日 (土) に「第 30 回県大祭」で試食してもらった。大好評で県大祭を盛り上げた。岩井教授は高岡で予定されていた「NHK のど自慢」でたい焼きを全国に紹介予定だったが新型コロナウイルスの影響で中止になり残念がる。最近､「巨大たい焼きの作り方＜世界一に挑戦＞」というハウツービデオを制作した。催し物などで、このたい焼き機でたい焼きを作る時に役立ててもらおうと思っている。

世界一のたい焼き試食会（第 30 回県大祭にて）

◆コマ

岩井さんが最近はまっている物に「コマ」がある。直径２０ミリ以下、全長 60 ミリ以内のケンカコマで争う競技で、土俵上一対一で戦い。トーナメントで戦い優勝すれば、出場したコマを、総取りできる。｢NPO 法人全日本製造業コマ大戦協会」が運営している。魅力は各会社や学校がそれぞれのおもいでコマを造り競うところ。岩井さんは切削技術を駆使して超硬質材料でコマを作って楽しんでいる。

コマ大戦とやま場所 2019
に学生と出場した時の風景

◆植松哲太郎先生との出会い

岩井さんは射水市の出身で、地元の富山県立大学の工学部機械システム工学科へ入学、そして植松先生のゼミに参加したことが今の岩井さんを作った。植松ゼミには１年から参加して、材料加工研究を続け今に至る。今、教授になり自分が学び始めたときの植松先生の立場になって教えていることは感慨ひとしおだ。学会の共同研究等で日本工業大学の鈴木清教授からも多くのことを学んだ。岩井さんは１年前に教授になったが、鈴木先生はその１年ほど前に亡くなって、教授になったことを報告出来なかったことが心残りで、なんか取り残されたような寂しさを感じるという。

◆遠隔授業

４月から新学期が始まったが、岩井さんは新型コロナウイルスの影響で対面の授業が出来ないために、遠隔講義を行っている。

リアルな講義と違い学生の反応を見ることが出来ないので戸惑ってしまう。ライブで伝えていたことが遠隔授業で伝えられるか課題が残る。機械製作実習の遠隔授業で、一連の流れをビデオ撮りして行った、これを機会に映像コンテンツを充実させようと思っている。

＝インタビューを終えて＝

大学の内と外を大胆に往来して活動を続ける岩井さんの「誰もやっていないことに取り組み、新たな発見があれば世の中の役に立つ」という言葉が心に残った。（池上　勁）

旧短期大学校舎見学徒然記

澤　嘉昭
富山県立大谷技術短期大学
1968 卒　草農業科 4 期生

正門から見る旧校舎は植栽木の繁茂による緑で囲まれ、まさに 50 有余年の歴史を感じさせる。開学時からある大谷講堂は補強工事を経て今も現役。大谷講堂よ、末永くあれ！

大谷講堂前方には「富山県立技術短期大学記念之碑」が鎮座。全卒業生 4,680 名が刻されている。碑はここに短期大学が存在した証である。とこしえに残って欲しい！

大谷講堂と県立技術短期大学記念之碑（手前中央白色の台座）

管理棟エントランスホールにあるミニ石庭も健在。入学後に教授から「この石は山・海・島・大地を意味し、郷土富山県を表現している。諸君は郷土の技術発展と地域産業の振興に大いに貢献せよ」との鼓舞激励を頂きました。今、その建学の意志は富山県立大学へと承継されている。益々の進展を祈念申し上げます！

郷土富山県をイメージしたミニ石庭

今回の旧校舎見学には親子連れも見られ、この子達は将来の県立大学生かもと思いを巡らせる。そんな中、消えゆく短大校舎に名残りを惜しむかのように、白亜の百合が林内で静かに佇んでいる。サヨナラ、短期大学！

名残りを惜しむかのように佇む白百合一輪（管理棟玄関付近）

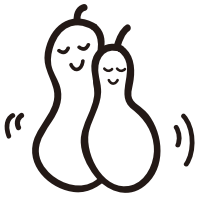
せんぴょうノート

千瓢

（せんぴょう）

昭和 38 年当時の写真で、扁額「千瓢」が掲げられている茶室

富山県立大谷技術短期大学（富山県立大学の前身）が昭和 37 年に開学。翌年、茶人の佐藤工業の佐藤助九郎（助庵）さんより茶室と礼法室を兼ねた建物が寄付され、太閤山にちなんで（太閤秀吉の馬印の千成瓢箪から）千瓢と命名。昭和 38 年 9 月に富山県立大谷技術短期大学茶華道部誕生する。富山県立大学の機関誌『千瓢』は、この千瓢よりきている。



緑を育み、未来へつなぐ
株式会社 サカエグリーン
SAKAE GREEN CORP.
代表取締役　山本　栄
〒930-0171　富山県富山市野々上150番地
TEL（076）434－0036
FAX（076）434－4968
HP http://www.sakaegreen.com/
サカエグリーンはカターレ富山を応援しています

総合建設業
株式会社　婦中興業
代表取締役社長　竹内　茂
〒939-2706　富山県富山市婦中町速星478番地
TEL（076）466-2333（代）　FAX（076）465-5392

3冊の本

今井　秀昭（いまい　ひであき）
大谷・草農業科１期生

書斎の本棚を眺めると今年喜寿を迎えた私の人生軌跡が蘇ってきます。学生時代の教科書、就職してからの専門書や、列車通勤時代の文庫本、人生に悩んだ時に支えとなった仏教書、そして今も欠かせない茶道に関する本、いずれの本にも深い思い出があります。その中で３冊を紹介するのは至難の業です。

最近は本を購入するより図書館で借りることが多い、「となみっけ」を使って各地の図書館から読みたい本を取り寄せて楽しむ、10冊まで借りることが可能だ。これから紹介する３冊は、このシステムを使って２週間前に読んだ手記と、老師から頂き、心の支えとして12年近く時おり開く本、私たちの茶事が友人によって全国に紹介された３冊の本を紹介します。

１、学徒出陣祖国日本のためと散った海軍大尉『森丘哲四郎　手記』（公益財団法人　特攻隊戦没者慰霊顕彰会）

貴方は「死ね」と命令されて死ねますか。学徒出陣で家を出る時には、ただ一言『行ってきます』と言ってそのまま故郷（黒部市中新）に帰ることも無く戦死した伯父。『故郷へ一度帰りたかった』と、寂しそうに最後の言葉を残して出撃したとのこと。淡い恋心を抱いていた女性にさえ打ち明けることも無く・・・。と姪・名和まどかさん遺族の言葉が綴られています。

手記は、大学で農業を学んだこと、特攻隊員としての日々訓練の様子がノートに書かれ、解読の難しいところは活字にして印刷されています。カルフォルニアでの農場経営の夢抱いた作物の作付圃場図などには、学徒出陣の同年代の時に県立大草農業科一期生の夢を抱いて学んだ者として心が痛みます。また、特攻隊として出撃しエンジン不調で奄美大島に不時着帰還の無念さや、沖縄に向け零戦爆装出撃前の心の動きの記載、両親への書簡等は心が詰まり涙なくして読むことのできないものとなっています。

私の隣在所にも、海軍特攻隊として戦死された根尾久男少佐の慰霊碑が門前にあり、小学校への行き帰りに頭を下げて通学した記憶があります。父母を尊び故郷を愛し、祖国の精神に燃えた心を、数々の詩や句に書き綴られた感想録も残されています。

戦中生れの私の戦争体験は、シベリヤに三年間抑留され帰国した叔父を高岡駅で迎え共に生活した日々のこと、パイロット養成所に入所するも敗戦で夢が叶わなかった叔父のこと、村に残された戦争資料によって学んだこと、裏千家青年の船団員として沖縄海上などで慰霊祭を経験したこと等だが、戦争は起してはならないと心に強く刻んでいます。

沖縄の海は、森丘哲四郎大尉が昭和20年４月29日（旧天長節）に22歳と８日で特攻散華された海、昭和49年６月17日森丘哲四郎大尉と同期の桜、裏千家15代御家元との船上慰霊祭に臨み、読経の後、抹茶・酒・花を涙と共に投げ入れて合掌した記憶は今も脳裏に鮮明に残っています。御家元の言葉によれば「千ちゃん俺が生きて帰ったらお茶の稽古をしたい。よろしくたのむよ」とはにかみながら語られた素敵な笑顔が忘れられないと。出撃前に抹茶一服点ててほしいと所望され「俺が出たあとこの茶碗を遺品と共に家へ送り返してほしい」と戦友に依頼し、見事体当たりの戦果を挙げられたと申されます。97歳お元気で世界を飛び回り「一盌からピースフルネス」＝一盌を以て世界を平和にと活動される15代御家元・千玄室大宗匠のお姿や、お会いしてお話ししながら頂くエネルギーから、私もお茶を通して世界平和の具現化に身を尽くさねばと思うのです。

慰霊祭に使われた遺品のお茶碗

このお茶碗が遺族から寄せられて鹿屋基地史料館に残されています。毎年桜の開花する４月第一土曜日に基地近くの慰霊塔で、遺品のお茶碗を使って慰霊祭が行われています。学生時代は農場経営の夢を抱き、ラクビー選手であったことからラクビーボール形（戦闘機の操縦席形との説も）の抹茶茶碗を大切にされていたと聞き、是非、そのお茶碗に出会い、若き特攻隊員はいかほどの思いであったかを知りたく、昨年３月、家内と共に鹿屋基地近くの慰霊塔に参拝し、史料館や戦跡などを回り平和の尊さやありがたさを肌身を以て経験し、これら先人の思いが礎となって平和に暮らせていることに感謝しています。

県立図書館に遺族の方がこの手記を寄贈されて４年目、戦後７５年経過し始めて、戦死者が祀られている富山県護国神社で戦友・千玄室大宗匠の献茶式が５月25~26日に執り行われることが決まり、再び手記の拝読となっています。

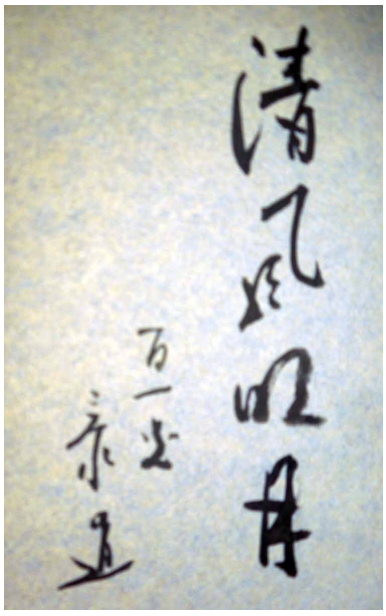
2、心の師に賜った一冊
『人生を癒す　百歳の禅語』
（松原泰道著・致知出版社）

この本は、松原泰道老師（東京都三田・龍源寺先住）の上寿に、家内と共に鯛の蒲鉾など持参して、お祝いを申し上げ懇談してから、一年後に百一歳泰道「清風明月」と認められて届けられた心の一冊です。この本には茶会に使ったことのある多くの禅語や人生訓が紹介されています。禅語のお軸は茶会の最も大切なお道具、亭主はその日の茶会にふさわしい禅語のお軸を床に掛けて客を迎えます。禅語は禅門の師弟間の修行の深い浅いを計り知り、自己の悟りの程度を表現する「詩」として用いられ、これを「挨拶」と言われています。

「眼横鼻直」は、永平寺（福井県）を開かれた道元禅師が四年に及ぶ中国での修行を終え帰国された時の言葉です。「眼は横に鼻は縦についている」とあまりにも平凡な事実、そこに真理があり、人間には眼や鼻と同じ様に人間としての仏性が生まれながらに、全ての人に備わっていますと道元禅師は分かり易く申されたのだと。

幸田露伴の「三福の教え」も紹介されています。「今日の吾人は、古代に比べて大いなる幸福を有している。これはみな前人よりの植福の結果である・・・。」福を独り占めせずに、近所の人に施すだけでなく、未来にも遺せと言うのです。そして第一に惜福＝大切に福を惜しむ。第二に分福＝福を他にも分ける。第三に植福＝後の人のために、福を植えて、徳を積んでいくことが大切だと。

放浪の俳人・種田山頭火「いつ死ぬる木の実を蒔いておく」の句や、マルチン・ルターの「私は明日死ぬことが分かっていても、今日リンゴの木を植える」を紹介し、陰徳を積むことの大切さ。死を知ることは生を大切にする。命を大切にすることを知っていると、そして「少にして学べば壮にして為すなり。壮にして学べば老いて衰えず。老いて学べば死して朽ちず」と儒者・佐藤一斎の言葉を紹介されるのです。


百一歳・松原泰道老師の御染筆

人生百年時代に入り、県立大大谷一期、二期卒業生も後期高齢者入りしたと申すものの、松原泰道老師のお祝いに伺った上寿まで四分の一世紀を残す。時にはこの本で心を癒し、教えを学び、わが心の師・松原泰道老師の申される「人生一生修行、臨終定年」を杖言葉に日々豊かに人生を送れることを願っています。

3、茶友によって紹介された私たちの茶事
『茶友のもてなし　茶趣をめぐる十二の旅』
（北野宗道　森田宗圓著・淡交社）

５年前に発刊されたこの本、青年時代ともに活動した全国の茶友を毎月訪ねて紹介する企画です。発刊の２年前５月のことであったろうか？茶趣をめぐる富山の旅は、正客を務めて記事を書く森田宗圓氏（奈良市）、カメラマンなど４名による３日間に及ぶ取材です。茶事の亭主は、北前船の港として栄え、街並みを今に伝える造り酒屋主人、養心庵・桝田敬次郎（宗啓）氏宅（富山市東岩瀬）、次客・吉井宗清氏（金沢市）、詰は私・宗秀が務めました。

茶事の始まりは寄付きから待合へ進むと香煎が運び出されます、汲出し碗は石黒宗麿造（人間国宝・富山県出身）です。頂きながら陶工・宗麿は岩瀬へ度々訪ねていたとの語らい。茶碗を拝見して茶席に進む。床には墨痕逞しい「高々峰頂立」の一行。出典は道元禅師の「正法眼蔵」有事の巻に出てくる言葉で「清巌和尚」が書かれたものだと、亭主と正客の会話が進む。今日の茶事は飯後の茶事です。富山湾の幸が古染付の皿に盛られ、朱盃が運び出され、小杉焼の鴨徳利で銘酒・満寿泉が運び出されます、鴨徳利は注ぐとトットットッと小気味よく音が出て楽しく、「お酒は売るほどありますから」との会話もまた楽しい。炭点前も進み席が改まり、後入りの床に替わります。花は黒百合と白雲木、点前座には備前焼の水指と茶入れが私たちを待ち、亭主の点前で御濃茶が練り上げられて、正客・次客・詰と飲み回す。続いて薄茶点前が始まり順服、好みの絵唐津や越中瀬戸茶碗で数服頂く様子が紹介されています。茶杓は県立大学へ茶室「千瓢亭」を寄贈された佐藤助九郎（宗越・助庵）氏作、銘は「青雲」、「『青雲』ですか。『翁』となっても、なお」「翁はまだ早い！」と亭主と正客の楽しい会話が続く。これも茶事の醍醐味です。

佐藤助九郎氏は富山の財界重鎮で、富山の茶文化に大きく貢献された数寄者で私たちの大恩人です。茶事を終え佐藤記念美術館（富山城址公園）にて茶室や茶道具等の収集品の取材が行われ紹介されています。平成30年４月に砺波市柳瀬にあった本宅の一部の材料を使い、地域の茶人たちの篤志で本丸亭建設や碌々亭移築をして富山市へ寄贈されたもので、私たちは佐藤氏のご恩に報いたいと協力して越路茶会を開催しています。

こうして多くの人々との出会いの中から３冊の本を紹介することが出来ました。卒業まじか稲垣保彦教授（保健体育学）の最終講義で「週刊誌は読まず、専門書を読め。20代は学べ、30代は試せ、40代は働け、50代は纏めて書け」と申されたことが思い出されます。「となみっけ」をアクセスすれば、稲垣教授や恩師の著書に私の拙書も検索できます。この企画が今後も続き、再び拙文の紹介できることを念じて筆を置きます。

宮代　裕（みやしろ　ひろし）

名誉教授　2000年3月退職

1958年である。ドイツ学術交流会の留学生として渡欧した。フランス郵船で行ったが、そのとき手荷物として持っていた三冊の本の中に、

和辻哲郎、『風土』（岩波書店）がある。

東南アジア、アラビア、ヨーロッパの三つの地域について、その気候、風土がその地域の住民や文化、宗教に及ぼす影響について論じたもので、それぞれをモンスーン（湿潤）地帯、砂漠（乾燥）地帯、牧場地帯と名付けている。著者が船で渡欧したときの印象が反映していると思う。私も、インドを経て、紅海を北上しているときに右手に見えた砂漠、そしてマルセイユに上陸して仰ぎ見たノートルダム・ドゥ・ラ・ギャルドはいまだに強く印象に残っている。

外国で宗教のことを聞かれるだろうと思って、持って行ったのが　**鈴木大拙著、北川桃雄訳、『禅と日本文化』、岩波新書**　である。禅は教わるものではなく、みずから体得するものだ、ということが強調されている。いまでも覚えているのは、冒頭の泥棒の名人の話である。名人がそろそろ引退というので、その息子が、お父さん、盗みの極意を教えてもらいたい、と言う。俺についてこい、と二人は金持ちの屋敷へ向かう。塀を破って家に入り、長持の中から衣類を盗み出す。親爺は息子を長持の中に入れたまゝ蓋をし、中庭に飛び出して「泥棒だ」と叫び、自分は家へ帰ってしまう。富豪の家人が灯を持って飛び出してくる。息子は長持の蓋を押し開け灯を吹き消して逃げる。井戸の傍を走り抜けるときに、大きな石を井戸へ投げ込む。人々が「井戸へ飛び込んだぞ」と集まるすきに、息子は家へと帰った。彼は、危機一髪のところだった、と父親の非道を鳴らした。父親は言った。「まあ怒るな、どうして逃げてきたか、ちょっと話してみろ」。「・・・・・・」。「そうだ、お前は夜盗術の極意を覚え込んだのだ」。この本は、著者が日本の文化を海外に知らせるために、英語で書いたのである。私がドイツで会話を習った先生は、私の上達をみて、初級会話習得中の外国人学生に何か日本の話をしろ、と言う。私は、この泥棒の話をした。学生はドイツ語の力が弱くて理解できなかったようだが、先生はとても面白い、と誉めてくれた。

三冊目との出会いは、1990年代である。私は県立大学の公舎に住み、毎朝ラジオを聞きながら食事をした。大原総一郎氏が話している「ローザ・ルクセンブルクの『獄中からの手紙』に強い感銘を受けた」。私が買ったのは、 Rosa Luxemburg,『Briefe aus dem Gefängnis』,Dietz Verlag　その内容にふさわしい瀟洒な装幀の本である。友人ゾフィー・リープクネヒトにあてた手紙で、監獄からかいま見る自然、植物、動物、さらに文学、あらゆることに興味を持ち、共感する、その温かい心がひしひしと感じられた。いつまでも一幅の絵として私の頭に残っているのは、「監獄から出たら貴女をコルシカへ引っ張って行きたい・・・・・・山を廻る小径をゆくと馬の列がやって来る。騾馬には婦人が横座りになり、腕に子供を抱いて、・・・・・・」。

同窓会正会員数

11,468 名

お願い：住所不明会員が年々増えております。該当者をご存知の方は、事務局まで連絡いただけるようお伝えください。

ガンコなこだわり！
マルタカハウス
丸高木材株式会社の家
MARUTAKA
専務取締役　一級建築士
片境　清久（S61.衛生工卒）
（一社）富山県建築士事務所協会　理事
〈本　社〉〒934-0058 射水市川口997
☎(0766)82-5101 FAX 84-3637
Intertek ISO9001:2015 要証取得 注文住宅・リフォーム
UKAS

KIKURA DTP DESIGN & PRINTING
わたしたちは、優しさを印刷しています。
エコアクション21 認証番号 0001870
プライバシーマーク 24000379(02)
企画・デザイン・印刷・製本・ソフト開発
キクラ印刷株式会社
〒933-0322 高岡市樋詰48-2
[TEL]0766-31-2794　[FAX]0766-31-3526

松原建設
MATSUBARA CONSTRUCTION CO., LTD.
http://matsubara-kensetsu.com/

同窓会日誌

同窓会炭谷優子事務局長の日誌です。

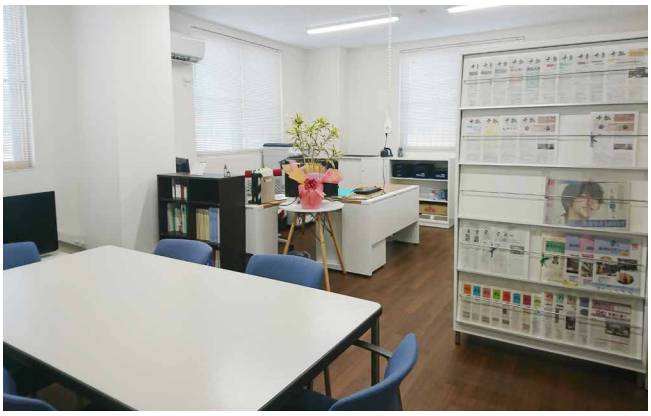
2019 年 8 月 11 日
大学内にて、総会・講演会・懇親会が行われました。総会前には新棟の建設に伴い取り壊しの決まっている旧短期大学の校舎見学会を開催したところ、たくさんの方に見学していただくことができました。

2019 年 10 月 17 日
富山県立大学開学 30 周年記念事業のひとつ 30 年史の編集委員会に出席しました。（コロナウイルス感染症の拡大により、記念式典は延期となりました）

2019 年 11 月 9 日
関東の同窓生で作っておられるエトワール会に初めて参加させていただきました。今回の開催は横浜でした。関東以外でもこのような活動が盛んになるよう支援していきたいと思います。エトワール会に興味のある方、他県でも同窓生の集まりを考えておられる方はぜひご連絡ください。

2019 年 12 月 13 日
環境工学棟 (旧短期大学校舎) 取り壊しのため、同窓会事務局が東駐車場にある実験棟内に移転します。先月より実験棟内一室の改築工事が始まり、本日、完成引き渡しとなりました。

2020 年 1 月 15 日
新同窓会事務局に什器が搬入されました。会員の山名さんと役員の宇於崎さんにお手伝いいただき、引っ越しも完了しました。たくさんある資料や書類をこれから整頓していかなくてはなりません。膨大な写真には歴史を感じます。大学本館からは道路を挟んで東側と離れてはいますが、ぜひお立ち寄りください。



新同窓会事務局（東実験棟内）

2020 年 3 月 29 日
9 階建新校舎がついに完成し、竣工式が行われました。石井知事をはじめ、県の関係者や大学関係者、建設に携わった外部関係者、地域の方々が多数ご臨席され粛々と式が行われました。

2020 年 5 月 20 日
今年度の総会中止を決定しました。2 月から実行委員のみなさまにご協力いただき、懇親会の準備を進めておりましたが、来年に持ち越すこととなりました。新校舎の見学会も企画しておりますので、来年の同窓会にぜひご参加ください。

プレゼント 10 名様

果汁入りはちみつ「ゆず蜜」500ml
今回のプレゼントは、杉養蜂園の果汁入りはちみつです。会員の皆様の体調管理にお役立てください。美味しく水分補給をしたり、ドレッシングにアレンジしたりと使い方は色々です。

～果汁入りはちみつドリンクの作り方～
果汁入りはちみつ 1 に対して水またはお湯 5 の割合
炭酸水や紅茶などで割っても、美味しいですよ。

抽選で 10 名にプレゼント。
「ゆず蜜」希望と書いて、はがきかメールでご応募ください。ホームページからもご応募できます。
締切 9 月末（当日消印有効）

応募先
〒 939 － 0398　富山県射水市黒河 5180
富山県立大学同窓会　「千瓢」編集部
Email : senpyokai@pu-toyama.ac.jp
ホームページ : https://tpu-dosokai.jp/

― 前号プレゼント当選者発表 ―

富山小松菜餃子

吉野　久志 さん	藤田　人志 さん
北林　恒好 さん	湯浅　徹 さん
須山　健幸 さん	岡田　美紀 さん
上田　文憲 さん	古河　朝美 さん
永瀬　孝博 さん	真木　春美さん

当選おめでとうございます。

2020年度同窓会総会中止のお知らせ

8月15日に開催を予定していた総会・懇親会・新棟見学会は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、中止といたします。

県をまたいで大勢の方々が来場されることにより、感染のリスクを排除できないと判断し、今回の結論に至りました。新棟の見学など、参加を楽しみにしておられた方々には何卒ご理解の程、お願い申し上げます。

一日も早くこの新型コロナウイルスが収束し、来年開催できることを願い、目処が立ちましたら実行委員が中心となって準備を進めていきたいと思います。

声

◆深尾敦子（技・環境・2000卒）
短期大学部の校舎をなつかしく思い出します。取り壊しの前に、こういう企画を作っていただきありがとうございます。

◆西尾麻里（技・衛生工学・1988卒）
なつかしい楠井、奥井先生にお会いできるなんて、楽しみにしています。学舎見学の企画もありがとうございます。

◆山本憲司（大谷・機械・1964卒）
予算経理で上手に運営して下さい。自分だけの言い分でなく、広く多くの人の為になる社会を造っていきましょう。
当初の大谷米太郎の哲学は良いものであった。これからが大切！

同窓会の情報はホームページとFacebookからも配信しております。是非ご覧ください。ご意見、ご要望もお待ちしております。

富山県立大学同窓会公式WEBサイト
https://tpu-dosokai.jp/

こちらから住所変更手続きや各種お問い合わせができます。

Facebook公式ページ
fb.me/tpu.dosokai で検索！

富山県立大学同窓会年会費制を廃止します

会員の皆様には長年、会費をお納めいただきありがとうございました。本年度より新しく、同窓会寄付金制度を設けます。寄付金は1口2,000円です。（何口でも可） 5口以上寄付をしていただいた方にはプレゼントをお送りします。お振込方法等の詳細については、別紙をご覧ください。

編集後記

▼コロナ影響下の3月18日劇場へ行き『パラサイト』を見る。観客は3人程、当分は劇場で映画は見られないと思った。格差社会を描いたアカデミー作品賞の韓国映画、なかなかおもしろかった。コロナの影響で自宅待機が続いたので、今迄撮りためた、ビデオテープ（VHS）やブルーレイディスクで映画を見た。今迄見た映画のベスト10を選んでみた。先ず黒澤明監督に敬意を表して、『七人の侍』（1954）を見る、山場の雨の中での戦いは迫力があり、圧倒される。同監督『隠し砦の三悪人』（1958）は敵中を突破する痛快娯楽作品。三船の騎乗の戦いのシーンは大和東宝の右側の少し奥の座席で見た、その劇場と共に心に残っている。黒沢さんとよく対比される木下恵介監督からは『二十四の瞳』（1954）、泣けます、そして初めから終わりまで唱歌で埋め尽くされています。小津安二郎監督からは『東京物語』（1953）、戦死した次男の嫁、原節子が義父の笠智衆にいつもいつも、死んだ夫のことばかり考えているわけではなく「わたくし、ずるいんです」という箇所が、心に残った。山田洋次監督からは『男はつらいよ』、リリー（浅丘ルリ子）の『男はつらいよ・寅次郎相合い傘』を選ぶ。船越英二との掛け合いも面白い。次は洋画に移る。アルフレッド・ヒッチコック監督からは『北北西に進路を取れ』（1959）を選ぶ、ケーリー・グラントが事件に巻き込まれて、はらはらどきどきの物語、トウモロコシ畑で飛行機に襲われる場面は大変魅力的だ。『ウエストサイド物語』（1961）は、レナード・バーンスタイ作曲、ロバート・ワイズ、ジェローム・ロビンソン監督のミュージカル映画の傑作で、公開時、指をならしていたことを思い出す。『ローマの休日』（1954）、オードリー・ヘップバーンの魅力につきる。チャップリンからは『ライムライト』（1952）、甘い物語だが泣けます、人生で大切な物は「勇気と想像力と少しのお金」という名セリフがある。最後の10作目は、理屈抜きに好きな『ぼくの伯父さん』（1958）、フランスのコメディアンで喜劇映画監督ジャック・タチの作品で、タチが主役も務めている。

（2020年6月25日池上　勁）